

秋のキッズ ネイチャーフェス 活動報告

とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク 共同代表 遠藤隼

秋のキッズネイチャーフェス 実施報告

実施日：2023年10月22日(日)

開催場所：宇都宮市みずほ自然の森公園

スケジュール

10:00 受付・あいさつ

団体ごとに体験会を実施

14:15 各団体の活動の説明

14:30 終了



秋のキッズネイチャーフェス 実施報告

☆2023年度キッズネイチャーフェスの運営費用はクラウドファンディング「子どもたちのために自然体験との出会いの場をつくりたい。」のご支援により実施することが出来ました。皆様、ご支援ご協力誠にありがとうございました。



成立

子どもたちのために自然体験との出会いの場をつくりたい。



とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク

76名の皆様より、78万円にもものぼるご支援をいただきました。

当初予定していた2023年6月の回は雨天により中止となりましたが、今回10月22日に再び実施することが出来ました。

また、2024年春にも今回のご支援から継続して運営をしていきます。

秋のキッズネイチャーフェス2023（出展団体の一部を紹介）



団体名 **なす高原自然の家**
体験タイトル **木製コースター**
丸太の輪切りに絵や文字をかいてオリジナルのコースターをつくります。

団体名：**トチギ環境未来基地**

体験タイトル：竹でつくろう！竹馬、竹と葉っぱのメダル♪

体験内容：竹を材料に、自分だけの竹馬をつくりましょう。竹を切ったり、割ったり、結んだりの作業を、力をあわせて。輪切りの竹と好きな葉っぱを使ったかわいいメダルづくりもあります



秋のキッズネイチャーフェス2023（出展団体の一部を紹介）



団体名：うじいえ自然に親しむ会

タイトル：秋の生きものとあそぼう♪

内容：秋の虫をはじめとする様々な生きものたちに会いに行きましょう！どんな生きものに会えるかは、当日のお楽しみ。

団体名 葛飾区立日光林間学園

体験タイトル 木のクラフトを楽しもう！

学園の木や地域のりんご園からいただいた徒長枝を使ったクラフトです。

自分だけのオリジナルな木のゴッドアイを作ってみましょう！



秋のキッズネイチャーフェス2023 (出展団体の一部を紹介)



団体名：じおらじお*

タイトル：五感で遊ぼう！フィールドゲーム

内容：見て触れて聴いて、体感をフルに使って、自然の中で楽しく遊ぶゲームです。

団体名 **キリフリ自然学校**

体験タイトル:「ドラム缶伝説」 & ブックカフェ「キリフリ」

体験内容:「ドラム缶伝説」：空っぽのドラム缶を使ってどんな遊びができるかな。完全アドリブ&ライブな感覚と一緒に遊びを考えて、とにかく「やってみよう！」



秋のキッズネイチャーフェス2023

会場の様子



会場全体でのレクレーションゲームの実施
(日光林間学園)

2023年10月29日 下野新聞掲載



親子で自然体験
秋の一日楽しむ
宇都宮でキッズフェス

【宇都宮】生き物観察やクラフト作りなどを通じて自然体験をする「秋のキッズネイチャーフェス」が22日、西刑部町のみずほの自然の森公園で開かれた。写真

真。
子どもたちに自然の魅力に触れてもらおうと、とちぎ子ども自然体験活動ネットワークが毎年、春と秋に開催。運営資金を確保するため今春にはクラウドファンディングを実施し、70人以上から計78万円が寄せられたが、春のイベントは雨天で中止になった。

今回は秋晴れの中、親子連れを中心に約180人が来場。生き物観察や自然の中で遊ぶフィールドゲーム、枝や葉を使ったおもちゃ作りなどを楽しんだ。

同ネットワークの遠藤隼じゅん共同代表は「元気に駆け回る子どもたちの姿がうれしかった。今後も子どもたちに自然と出合う場をつくっていきたい」と話した。

とちぎ県民 掲載料金(税込) 写真掲載あり

秋のキッズネイチャーフェス2023



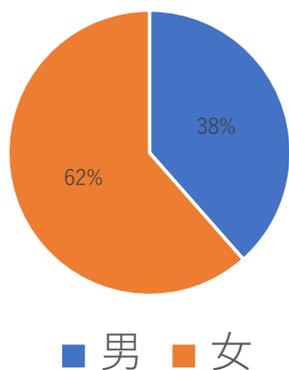
1歳	1
2歳	4
3歳	3
4歳	7
5歳	8
6歳	4
7歳	6
8歳	9
9歳	4
10歳	5
11歳	5
12歳	1
13歳	2
不明	38
合計	97
保護者	78
来場者合計	175

合計参加人数 175名（保護者78名・子ども97名）

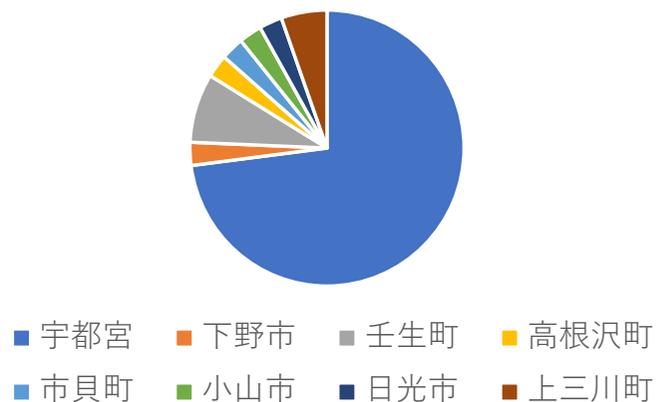
秋のキッズネイチャーフェス2023

アンケートは会場にいる保護者様（38名・無作為抽出）にご協力いただきました。

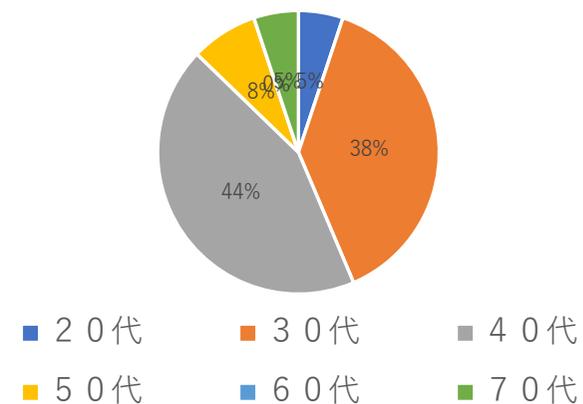
性別



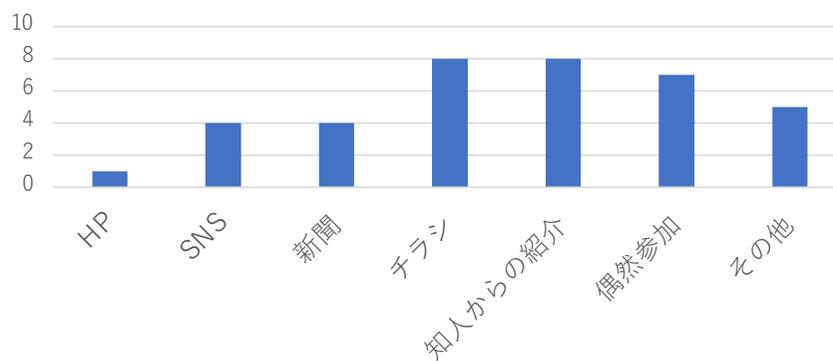
お住まいの市町村



年齢

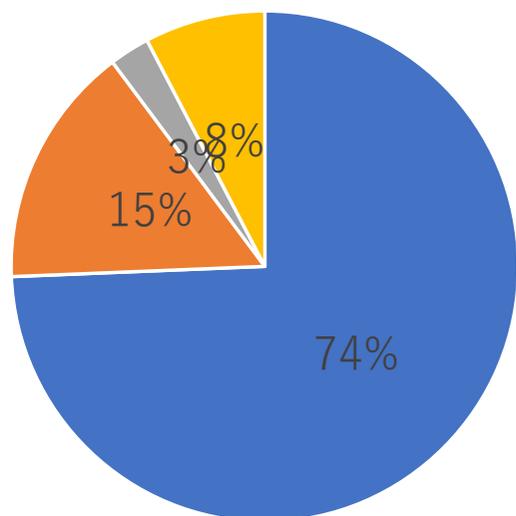


来場のきっかけ



秋のキッズネイチャーフェス2023

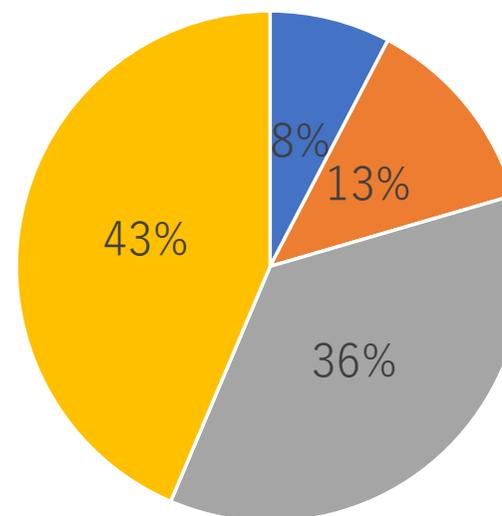
キッズフェスへの参加回数



■ はじめて ■ 2回目 ■ 3回目 ■ それ以上

約75%が「はじめて」参加と回答している。

出店団体への参加経験

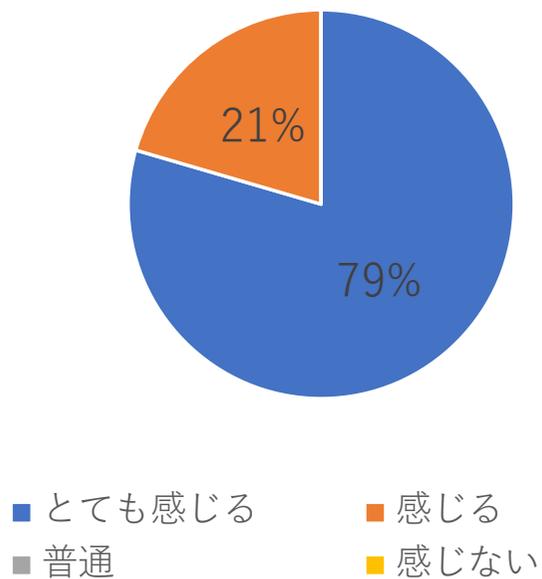


■ 3団体以上 ■ 2団体 ■ 1団体のみ ■ 参加経験ない

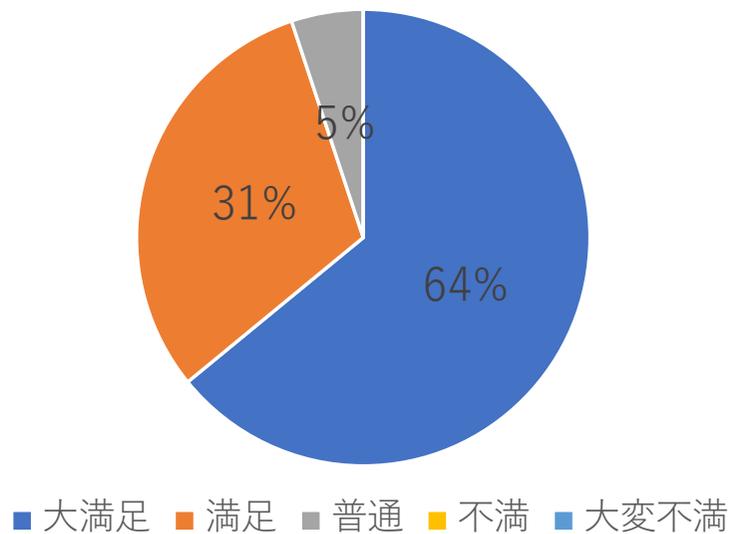
出展している自然活動団体への参加経験のない方が約40%以上。1団体のみの方も約40%回答であった。

秋のキッズネイチャーフェス2023

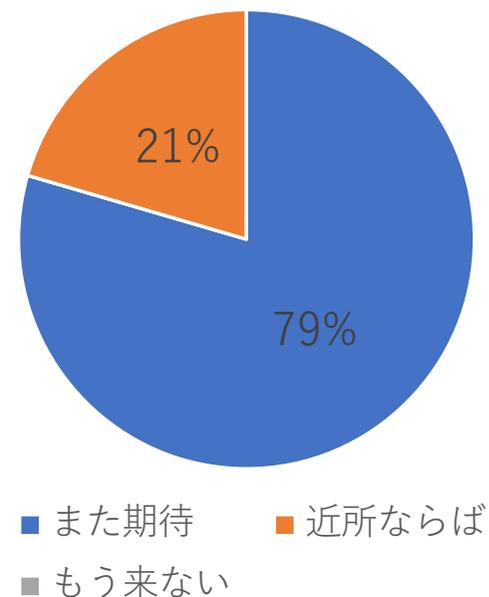
子どもの成長に自然体験の必要性を感じるか



イベントの満足度



再び参加したいですか？



秋のキッズネイチャーフェス2023

Q 子ども向け自然体験活動にどのような可能性や魅力を感じましたか？
1 生き物に触れること、または見れること
2 子どもたちの楽しい気持ち、自然の中でしか味わえないものがあると改めて実感
3 家でできないので、良い機会になりました。
4 脱穀体験が良かったです。ごはんを大切に食べてもらいたいです。
5 自然を体験させることが難しいので、こういった団体があるときかけとなった。
6 普段、外で遊ぶことが減っているの自然の中で遊ぶことで発想力や想像力、さまざまな身体の使い方を知ることができる
7 生き物に触れる。普段保育園でやらない工作。広いところで走り回れることなど
8 子どもが子どもらしくいられる。子どもの興味関心を伸ばすことができる。必要不可欠なものと思っています。
9 自然体験が子どもの世界を大きくしてくること。自然と共生、上手に付き合うことで豊かな生活がおくれること
10 子どもの成長には自然体験が必要だと常々思っていますが、 貧富の差に関係なくできる取り組みがあると良い。
11 自分（親）が教えたいけど教えられないこともあるので、利用させてもらってます
12 現在は自然体験できる環境があまりないので、とても素晴らしいイベントだと思いました。
13 自然を体験することも大切。それにプラスして 運営している方（大人）とも関わることできことも大切。 これからの子どもたちにすごく貴重な機会だと思います。
14 自然の中で子どもが学び、自らを解放できること
15 自然に触れられてよい
16 年下の幼児・年上の小中学生・大学生・スタッフの方・いろいろな方と自由に関われて良かった
17 今まで全く虫など生きものに触れなかったのに、イキイキと楽しく触れ合っているのを見てびっくりしました。環境の大切さを感じました
18 子どもの目線についてキラキラしたものを探すとき、 はっぱがキラキラしていたという言葉があり、素敵だなと思った。 体験をたくさんして欲しいです
19 生き物に触れ合えて、子どもが楽しそうでした
20 普段の生活では感じられない五感の大切さ
21 解放的な制作を自由に学べてとてもいいと思う
22 工作が楽しかったです。

秋のキッズネイチャーフェス2023

	Q その他ご意見ご感想など
1	とてもよい試みですね
2	とても楽しめました。ありがとうございました。
3	とても楽しく過ごせました、ありがとうございました。
4	子どもたちは楽しんでおりました。普段の生活の中にも活かしてみたいと思うことがたくさんありました。
5	運営することは大変なことも多いと思いますが、子育て世代の親にとってはとてもありがたいと応援しています。これからも頑張ってください。
6	また期待です。貴重な機会をありがとうございました

まとめ

- ・初の参加者が75%、また自然体験団体への参加経験1団体のみの方は約40%。

→自然体験活動未経験と思われる方へアプローチすることができた。

また、参加経験1団体のみへの方には、他団体へ参加をする足がかりとなる可能性を作れた。

- ・「貧富の差に関係なくできる取り組みがあると良い。」との意見があった。

→当イベントを参加費無料で実施する意義があると感じた。

- ・「小中学生・大学生・スタッフの方・いろいろな方と自由に関わって良かった。」との意見があった。

→自然体験には、自然との触れ合いだけでなく、異年齢交流にも寄与している。

子ども向け自然体験プログラムへ興味関心のある親子へ
自然体験活動への第一歩としてアプローチすることができた。

謝辞

クラウドファンディングにご支援いただいた皆様

この度は、ご支援ご協力、誠にありがとうございました。

6月実施予定だった運営費1回分を延期として、今回へまわしたことにより、晴天のもとで秋のキッズネイチャーフェスを実施ができました。これにより、より多くの子どもたちが来場してくれたと感じております。また、2024年春（5～6月）の運営も今回のご支援を活用させていただきます。

先ほどのアンケートにも **自然体験活動が「初体験」**と思われるご家族がたくさんいらっしゃいました。このイベントをきっかけに自然体験へ興味をもち、県内で活動するそれぞれの自然体験活動団体へ参加をしていく子どもたちが増えることを願っています。

イベントを実施することにより、「栃木県の子どもたちへ。自然体験の機会を届けることができました。」

改めて、ご支援ご協力ありがとうございました。

2024年にも実施予定ですので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク 共同代表 遠藤隼
(サシバの里自然学校 校長)